

ロックボルト頭部角度補正低床型キャップ エポックキャップ

Made in 新潟 登録番号：29D2004

株式会社新潟リアライズ

〒940-0082 新潟県長岡市千歳3-5-17 センザイビル101号

TEL 0258-31-4080 FAX 0258-31-4081

URL https://www.niigata-realize.co.jp/

mail HP内問い合わせフォームあり



施工事例



部材構成

概要

「エポックキャップ」はロックボルト頭部定着用部材である。従来の保護キャップは基面から45～150mmほど突出しているが、本製品は突出高を29mm程度まで抑えた。そのため落石・雪崩等による衝撃を回避でき、保護キャップの破損を抑制できる。また比較的早期に植物に覆われ自然景観に近い状況となるため、景観性の向上にも寄与する。

施工手順



①グラウト注入後、ワッシャー付プレートで仮止め。位置確認後グラウトを硬化



②グラウト硬化後、ワッシャー付プレートを取り外し、練モルタルを充填する



③ワッシャー付プレートと30度球面ナットを取り付ける



④球面ナットを取付、所定の荷重で定着



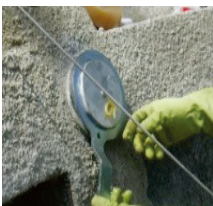
⑤ワッシャー付プレートの周囲を固練モルタルで充填



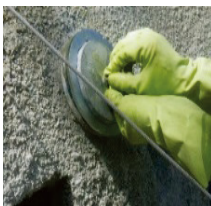
⑥防錆材をワッシャー付プレート内部に充填



⑦防錆材を保護キャップ内部に充填



⑧専用レンチで保護キャップを締め空気穴から防錆油が出ることを確認

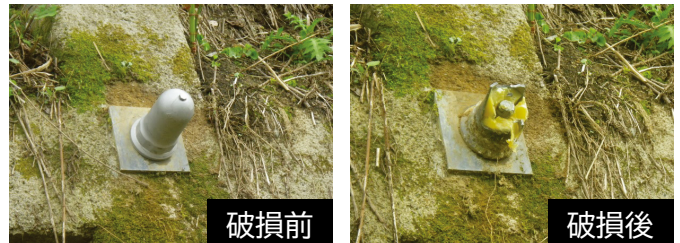


⑨空気穴にステンレスボルトを取付け、完了

特長

- 1. 落石・倒木・雪崩などによる破損の低減**
保護キャップが低床のため、落石・雪崩などによる衝撃を回避でき、保護キャップの破損を抑制できる。
- 2. 積雪地方における道路除雪作業時の破損の低減**
排雪板による破損を少なくできるため、補修工事などの維持管理費の低減につながり経済的である。
- 3. ロックボルトの打設角度0～30°まで角度補正用台座が不要で、定着固定が可能**
従来はロックボルトとの傾角が10°以上の場合は、その角度に応じて加工した特殊なテーパプレートを使用し、角度補正した上で頭部を定着していた。本製品はテーパプレートなどを使用せず容易に角度補正できるため、プレート材料費と施工経費を節減できる。
- 4. 効果の高い適用範囲**
法枠等の基面とロックボルトなどの打設角度が10～30°未満の現場。落石・雪崩等の発生によりロックボルト頭部破損の恐れがある現場。環境的に頭部の保護キャップ突出が望ましくない現場など。

従来製品による落石や除雪作業等での破損状況



破損前

破損後

部材構成概要図

